

まほろん

通信



2022年まほろん実技講座
ラインナップ発表!

【施設紹介】

とみおかアーカイブ・ミュージアム

団体見学のご案内

—みんなでLET'S GO TO THE まほろん—

まほろんでは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組んでいます。
特に体験活動については、職員との接触や近距離での活動を控えております。
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



! NEW !

「まほろん実技講座 ラインナップ」

LOOK BACK ON 2021 &
LINEUP ON 2022

まほろん開館20周年を迎えた昨年の
実技講座をふりかえりつつ、今年の実
技講座をご紹介します。

文：福田秀生（副主幹）



まほろんでは、收藏する出土品等を基に原始・古代のモノづくりに関する学習を目的
として、受講者を事前に募集して「実技講座」を開催しています。

ふりかえる
2021

令和3年度は縄文土器などの土器や
土偶づくりをはじめとして、全5講
座を実施しました。「本物の出土品」

を間近で観察して、文様や装飾を施していきました。
特に「土偶づくりに挑戦」では、まほろん收藏土偶
の構造調査として実施したX線CT撮影による画像
を利用し、土偶の内部構造や手足・頭部の接合方法
などを観察しながら製作することで、当時の製作方
法を追体験でき、受講者からは好評を博しました。

ラインナップ
2022

次に、令和4年度のまほろん実技
講座（下表参照）のラインナップ
をご紹介します。「相馬焼に挑戦」

は令和2年度から継続する講座で、白河市に窯を開
いた碓屋窯さんを講師に招いて、伝統的な技法で相
馬焼を製作します。「U-15実技講座」は夏の企
画展「U-15の考古学」に関連して、主に子ども
たちを対象として、土器や土偶の製作方法を学習し
ます。「ガラス玉づくり実験」では、昨年度の実技
講座で製作したガラスを素材として、ガラス玉をつ
くる実験を行います。「土師器づくり」は、冬の企
画展「古代の矢吹が原」に関連して古墳時代の土師
器（ハ・甕・鉢など）のセットを製作します。

まほろん実技講座の募集など詳細については、開
催時期が近くなりましたら、「まほろんホームペ
ージ」や館内ポスターなどでお知らせします。昔の
人々の生活や技術を体験できる講座となっています
ので、奮っての参加をお待ちしております。

実技講座 ラインナップ

- 「大相馬焼に挑戦」（全2工程）
印花づくり 5/29（日） 成形・施文 6/26（日）
- 「U-15実技講座 土器を作ろう」（2回開催）
7/30（土）・7/31（日）
- 「U-15実技講座 土偶を作ろう」（2回開催）
9/10（土）・9/11（日）
- 「ガラス玉づくり実験」（全2工程）
鑄型づくり 11/12（土）、操業実験 12/10（土）
- 「土師器づくり」（全2工程）
製作 1/21～25、野焼き 3/12（日）

表紙の1枚

こちらの写真は2022年2月13・20日に行われたガラス実験講座での一コマです。
参加者が手作りした坩堝にガラスの原材料を入れ、復元した古代炉に火をくべて高温に
し、ガラスに変化した様子です。参加者はガラスができる瞬間を熱心に見ていました。

まほろん 随時更新中！

公式SNS フォロー&チャンネル登録お待ちしております！

YOU
TUBE



INSTA
GRAM



HARORON.OFFICIAL

施設紹介

とみおかアーカイブ・ミュージアム

昨年、富岡町にオープンした、とみおかアーカイブ・ミュージアムの開館への道のりなどについて、富岡町教育委員会の三瓶秀文さんにお話を伺いました。

聞き手：大山 孝正（専門学芸員）

とみおかアーカイブ・ミュージアムは、東日本大震災とそれに伴う原発事故で被災した富岡町に、昨年七月一日にオープンしました。今回は、富岡町生涯学習課の三瓶秀文さんに、開館までの経緯、見どころ、今後の展望等についてお聞きしました。



とみおかアーカイブ・ミュージアム建物外観

とみおかアーカイブ・ミュージアムは「記録すること、資料を整理・保存して活用すること」を意味します。これには、東日本大震災と原発事故の影響拡大による、原子力災害の風化防止と継承を発信・継承することにも、富岡町の歴史・文化・地域性を伝える資料・情報の記録、保存と継承を回っています。



ジオラマで再現された昔の富岡町の祭りの風景



住民有志が多数参加して行われた被災パトカーの保全作業

とみおかアーカイブ・ミュージアムは、東日本大震災とそれに伴う原発事故で被災した富岡町に、昨年七月一日にオープンしました。今回は、富岡町生涯学習課の三瓶秀文さんに、開館までの経緯、見どころ、今後の展望等についてお聞きしました。

とみおかアーカイブ・ミュージアムという名称は、全国的にも珍しいと思いますが、どのような思いが込められているのでしょうか？

三瓶「アーカイブ」は「記録すること、資料を整理・保存して活用すること」を意味します。これには、東日本大震災と原発事故の影響拡大による、原子力災害の風化防止と継承を発信・継承することにも、富岡町の歴史・文化・地域性を伝える資料・情報の記録、保存と継承を回っています。

とみおかアーカイブ・ミュージアムという名称は、全国的にも珍しいと思いますが、どのような思いが込められているのでしょうか？

三瓶「アーカイブ」は「記録すること、資料を整理・保存して活用すること」を意味します。これには、東日本大震災と原発事故の影響拡大による、原子力災害の風化防止と継承を発信・継承することにも、富岡町の歴史・文化・地域性を伝える資料・情報の記録、保存と継承を回っています。

三瓶「アーカイブ」は「記録すること、資料を整理・保存して活用すること」を意味します。これには、東日本大震災と原発事故の影響拡大による、原子力災害の風化防止と継承を発信・継承することにも、富岡町の歴史・文化・地域性を伝える資料・情報の記録、保存と継承を回っています。

ただけですか？

三瓶「富岡町は、震災直後から全町が警戒区域となり、自由に立ち入りできなくなりまし



展示室内部のようす

とみおかアーカイブ・ミュージアムという名称は、全国的にも珍しいと思いますが、どのような思いが込められているのでしょうか？



3・11当日の町の災害対策本部の再現展示

と事業としては、土器づくり、塩づくりなどのワークショップ、企画展の開催、学校・生涯学習事業、図書館との連携等も進めていく予定です。主に公式ホームページで情報発信をしていますが、ぜひ、ご来館ください。ありがとうございます。なお、常設展示室にて、まほろん収蔵資料も展示されています。ぜひご覧ください。

とみおかアーカイブ・ミュージアム

住所：福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 760 番地の 1

電話：0240-25-8644

開館時間：9時から17時（入館は16時30分まで）

入館無料。

館の情報は、Facebook、Instagram をご確認ください（ホームページなし）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌火曜日）、年末年始。

※ 2022.3.16 に発生した福島県沖を震源とする地震により、とみおかアーカイブ・ミュージアムは展示等に被害があり、一時休館となりました。

3.26 に部分開館、常設展示室は 4 月中旬頃の再開見込みです。訪問時には事前に同館の Facebook 等で開館状況をご確認ください。

団体見学のご案内

まほろん LEARNING TO LIVE 自由の心

文：鶴見涼平（主任学芸員）
青木愛子（学芸員）

常設展示見学 まほろん

まほろんの常設展示は大きく2つのゾーンに分かれています。1つは「くらしのうつりかわり」をテーマに昭和～旧石器時代の食卓風景を再現して、むかしの人々のくらしの様子を伝えるゾーンです。家の中の様子や使われていた道具がどう変化していったかを知ることができる展示です。

もう1つは「くらしを支えた道具たち」をテーマにしたゾーンです。遺跡からの出土品と復元品を合わせて展示し、これ

バックヤードツアー イチョウ

バックヤードツアーでは、普段は見ることのできない一般収蔵庫にご案内します。収蔵庫には福島県内での発掘調査で出土した土器や石器などの遺物、復元品が収蔵されています。

収蔵庫内にある土器石器観察コーナーでは、ガラスケース越しではなく、隣近で本物の土器や石器などを見て、土器の文様や作り方、石器の割れ方など、むかしの人たちの技術を知ることができます。団体利用時のみ見学できる場所です。ご利用お待ちしております。

- ・団体利用の詳細い申込方法はまほろんホームページの「団体利用」のページをご覧ください。
 - ・一団体の人数は最大60名（引率者を含む）とさせていただきます。
 - ・人数が60名以上の場合、時間差見学・分散入室など事前にご相談させていただきます。
 - ・見学時間は目安です。見学所要時間に合わせて調整します。詳しくはお申し込み時にご相談ください。
- （4月20日現在）※感染症拡大状況によって変更します

まほろんの主な今後の予定

- ※各講座・講演会は事前申込制です。
 - ※新型コロナウイルス感染症拡大状況により予定が変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせ頂くか、まほろんのホームページをご覧ください。
- 申込みは **5/15（日）まで**
- ～5/8（日）企画展「戦後ふくしまの考古学」
 - 5/17（火）～ 実技講座（WEB配信）「おうちでできる土器づくり」
 - 5/29（日）・6/26（日） 実技講座「大塚相馬焼に挑戦」（全2回）
 - 6/5（日）第1回館長講演会
 - 6/12（日）～ まほろん森の塾（全5回）
 - 6/18（土）～ 9/25（日） 収蔵資料展「U（アンダー）- 15の考古学」（仮題）

まほろんでは新型コロナウイルス感染症対策を慎重に行いながら団体見学の申し込みを受け付けています。まほろんの施設には館内展示室（常設展示室・特別展示室）、野外展示、一般収蔵庫、特別収蔵庫（温湿度管理が必要な資料を保管）などがあります。

その中で団体見学時にご利用いただける施設・内容についてご紹介いたします。

らを比較しながら出土品がどのように使われていたかを学ぶことができます。

見学の際には、学芸員が各コーナーの内容をわかりやすく解説します。歴史の授業や生涯学習の機会に合わせて見学することがおすすめです。福島の昔のくらしや道具について知りたい時はぜひご利用ください。

むかしの道具をみてみよう むかしの道具

「むかしの人はどのような道具を使って生活していたのか？」社会科の教科書で見るむかしの道具について、学芸員がわかりやすく、見学者の前で実演・解説します。

特に3年生の社会科の授業で「むかしの道具」の学習の際におすすめです。



野外展示では毎週水曜・土曜に炉やカマドにて「火焼き」をしています。

団体見学メニュー 一覧

メニュー	所要時間
常設展示	20～30分
野外展示	20～30分
特別展示	15～30分
バックヤードツアー	15～20分
むかしの道具をみてみよう	15～20分

※その他体験メニューについては、お電話でのお問合せ、もしくはまほろんホームページをごらんください。

編集後記

春といえば新生活のはじまる季節。まほろんも新たな気持ちでみなさまと歩んでいきたいと思っています。今号で特集した「とみおかアーカイブ・ミュージアム」の資料ですが、まほろんの職員も設立や展示している資料の保存修復に関わってきました。また震災時に富岡町歴史民俗資料館にあった文化財を救援し、まほろんの施設にて保管していました。その資料が再び地元にて展示されるようになり、大変喜ばしいことと思います。

まほろん
通信
vol. 83

令和4年4月20日発行

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日 月曜日（月曜日が祝日・休日の場合にはその翌日）※国民の祝日の翌日（※4/30・5/6は開館）
7年未平給（12/28～1/4）
入館料 無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。）

お問い合わせ



〒961-0836 福島県白河市白坂一里段86
☎ 0248-21-0700
☎ 0248-21-1075
ホームページ まほろん 検索

